

日本光学会第157回幹事会

1999年5月14日(金)に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」「Optical Review」の編集委員会報告, ICOSN '99, 光学シンポジウム, サマーセミナー, Optics Japan '99等の講演会関連報告および審議, 日本光学会奨励賞審査報告, 光学論文賞募集要項および審査委員に関する報告, 名簿作成進捗報告等がなされました。なお, 詳しい幹事会議事録は次号に掲載予定です。

平成11年度第1回光学編集委員会

1999年5月10日(月)に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」第28巻第12号および29巻1号の企画決定, 29巻2号~5号の構想案の審議等を行いました。また29巻6号および7号の号担当者を決定しました。原著論文数が減少傾向にある現状に対して, 「特集に合わせた原著論文を集める」, 「速報を中心とする」などの意見が出され審議いたしました。

平成11年度日本光学会奨励賞選考結果

平成11年度日本光学会奨励賞は厳正な審査の結果, 以下の2氏に決定致しました。

藤 貴夫氏 (東京大学大学院理学系研究科物理学専攻)
対象論文: Takao Fuji, Sher Alam, Toshiaki Hattori and Hiroki Nakatsuka: "Constructive and destructive two-pulse excitation investigated with a white-light Michelson interferometry," Opt. Rev., Vol. 5, No. 5 (1998) 263-266.

溝上陽子氏 (立命館大学理工学部光工学科)
対象論文: Yoko Mizokami, Mitsuo Ikeda and Hiroyuki Shinoda: "Lightness change as perceived in relation to the size of recognized visual space of illumination," Opt. Rev., Vol. 5, No. 5 (1998) 315-319.

光学奨励賞は, 「Optical Review」および「光学」に掲載された原著論文の著者のうち, 規定の条件を満たす人の中から審査により選考されるものです。

なお, 掲載が遅れましたが, 本年度の選考は以下の選考委員会により行われました。

朝倉 利光 (北海学園大学工学部, 委員長)
志村 努 (東京大学生産技術研究所, 副委員長)
大坪 順次 (静岡大学工学部)

佐藤 平八 (防衛大学校電気工学教室)
富田 康生 (電気通信大学電気通信学部)
堀 裕和 (山梨大学工学部)
矢口 博久 (千葉大学工学部)

平成11年度光学論文賞選考委員会

平成11年度光学論文賞の審査委員会は下記の方々に決定いたしました。

山口 一郎 (理研)
阿山みよし (宇都宮大)
久保田敏弘 (京都工繊大)
笹木 敬司 (北大)
波田腰玄一 (東芝)
藤居 仁 (九工大)

平成11年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し, 下記のごとく光学論文賞を贈っています。光学論文賞規定については, 本号410頁をご覧ください。平成7年度からの光学論文賞規定の改訂により, 光学論文賞は公募に応じた自薦, 他薦の候補者から選考されます。

受賞対象者: 原則として表彰の年に満40歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員。

提出書類: 候補者の氏名, 会員番号, 生年月日, 満年齢(公募締切日における), 勤務先, 勤務先所在地, 自宅住所, 連絡先, 推薦理由(自薦他薦を問わず, 論文の特徴, すぐれた点等を400字程度でわかりやすく記す), 候補論文別刷6部(コピー可, 関連論文があれば2編以内でそれらの別刷またはコピーを1編につき6部ずつ添付), 他薦の場合は推薦者の氏名, 勤務先, 勤務先所在地, 連絡先。

書類提出期限: 平成11年10月29日(金)必着

提出先: 日本光学会庶務幹事 佐藤裕志

〒192-8505 東京都八王子市石川町 2970

コニカ株式会社オプト事業部オプト開発グループ

電話 0426-60-9319 Fax 0426-60-9325

E-mail: hiroshi.sato@konica.co.jp

結果は「光学」第29巻第3号において発表されます。

Optics Japan '99

日本光学会の学術講演会である Optics Japan '99 を,

1999年11月23日(火)～25日(木)に大阪大学コンベンションセンターで開催いたします。詳細については、本誌28巻5号の綴じ込み案内をご覧ください。

日本光学会第33回サマーセミナー

日本光学会は第33回サマーセミナーを1999年9月16日(木)～18日(土)の期間、上智大学軽井沢セミナーハウスにて開催いたします。奮ってご参加ください。詳細については本誌28巻6号の綴じ込み案内をご覧ください。

カラーフォーラム JAPAN '99

光学四学会幹事会(日本写真学会, 日本光学会(応用物理学会), 照明学会, 日本色彩学会)が主催するカラーフォーラム JAPAN '99が, 1999年11月9日(火)～11日(木)に工学院大学において開催されます。詳細については, 本誌28巻5号の綴じ込み案内, またはホームページ <http://vision.tp.chiba-u.ac.jp/colorforumj99/> をご覧ください。

国際レーザーセンシングシンポジウム

—第20回レーザーセンシングシンポジウム—

期 日: 1999年9月6日(月)～8日(水)の3日間

場 所: 福井商工会議所(福井市西木田2-8-1)

主 催: レーザレーダ研究会, 福井大学地域共同研究センター

共 催: UNESCO, 日本学術振興会, 日本光学会 他
プログラム:

(1) 招待講演: 次世代の高度レーザーセンシング技術

・大気レーザー三次元画像計測技術

E. Eloranta (米国, ウィスコンシン大学)

・高スペクトル分解能ライダー

C. Y. She (米国, コロラド州立大学)

・大気汚染のDIAL測定システム

M. Milton (英国, 物理研究所)

・風ベクトル分布計測コヒーレントライダー

M. Hardesty (米国, NOAA)

・風速計測のための直接検波ドップラライダー

C. Flesia (スイス, ジュネーブ大学)

・GKSSにおける新しいラマンライダー

C. Weitkamp (ドイツ, GKSS)

・NASA衛星搭載地球観測センシング計画

E. Browel (米国, NASA Langley)

・ESA衛星搭載の環境レーザーセンシング計画

P. Flamant (フランス, CNRS)

・レーザーによる医療診断技術

S. Svanberg (スウェーデン, Lund 大学)

・日本の地球観測衛星レーザーセンサ ELISE 等

(2) 特別セミナー: レーザとセンシング技術の未来と企業化

・固体レーザーとセンシング技術の展望

R. L. Byer (米国, スタンフォード大学)

・ドップラーレーザーレーダの製品開発

M. Huffaker (米国, CTI 社)

・大気観測ライダーの開発

A. Carswell (カナダ, Optech 社)

(3) 報告: アジア各国のライダー研究開発の現状

(4) 一般講演: 最新のシステム技術, 観測データの口頭およびポスター発表

発表申込締切: 1999年7月1日(木), 英文アブストラクト提出のこと(A4判, 2または4ページ)

参加申込締切: 1999年7月30日(金). ホームページを参照のうえ, e-mail または fax にてお願いいたします。

発表・参加申込先: 福井大学工学部 川戸 栄

E-mail: kawato@optele.fuee.fukui-u.ac.jp

電話 0776-27-8564 Fax 0776-27-8749

問合せ先: 福井大学工学部 小林喬郎(実行委員長)

E-mail: kobayasi@optele.fuee.fukui-u.ac.jp

電話/Fax 0776-27-8557

HP: <http://fuee.fukui-u.ac.jp/ilss/>

マイクロ/ナノスケールの光材料・デバイスに関する会議

Part of SPIE's International Symposium on Optoelectronics 2000

場 所: San Jose Convention Center (San Jose, California, USA)

期 日: 2000年1月22日～28日

問合せ先: 大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻

河田 聡 電話 06-6879-7845 Fax 06-6879-7876

E-mail: kawata@ap.eng.osaka-u.ac.jp

日本写真学会サマーセミナー '99

テーマ: デジタルイメージングの最新動向

期 日: 1999年8月26日(木), 27日(金) 1泊2日

場 所: 湘南国際村センター(神奈川県葉山町上山口1560-39) 電話 0468-55-1810

HP: <http://www.shonan-village.co.jp/svc/>

主 催: 日本写真学会

暫定プログラム：

8月26日(木)

13:00~14:00 レジストレーション

14:00~14:10 開会挨拶

14:10~16:10 デジタル写真の使い方

プロ写真家による写真データベースの応用

望月宏信(株式会社イリュージョン)

シリアス写真家はデジタルをこう使っている

梶原高男(日本カメラ)

16:30~19:30 デジタル画像の後加工と出力

写真調インクジェットプリンタの高画質化技術

田鹿博司(キヤノン)

プリンタの利用技術とターゲット市場

枝常伊佐央(セイコーエプソン)

デジタル写真画像の画像処理

榎本洋道(コニカ)

20:00~21:30 フリーディスカッション+懇親会

8月27日(金)

9:00~12:00 デジタルカメラの課題

デジタルカメラをけなす

山田久美夫

デジタルカメラ用光学系の進展

植田博文(オリンパス光学工業)

デジタルカメラの高画質化技術

乾谷正史(富士写真フイルム)

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 デジタルイメージングはどう変わるか?

超並列ビジョンチップとその応用

石川正俊(東京大学)

画像圧縮技術の将来動向

村山 登(東京工芸大学)

インターネットを利用した写真画像のハンドリング

濱岡邦雅(フォトネットジャパン)

16:00~16:10 閉会挨拶

参加費：

聴講費(テキスト代含む)日本写真学会会員25,000円,
一般30,000円,学生15,000円

宿泊費15,000円(懇親会費用,27日の朝食および昼食代を含む)

定員：先着80名

申込み締切：1999年7月31日

問合せ先：参加申し込みについては以下にお問い合わせください。

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学

内(社)日本写真学会サマーセミナー係

電話03-3373-0724 Fax03-3299-5887

会場までの交通：

JR 返子駅,京浜急行新返子駅,京浜急行汐入駅から京浜急行路線バス「湘南国際村行き」,「湘南国際村センター行き」利用で約30分。バスの本数が1時間あたり1~2本と少ないので,ご注意ください。

デジタル画像基礎技術講座

期日：1999年9月20日(月)~9月22日(水)

会場：機械振興会館地下3階研修1号館(東京都港区芝公園3-5-8)

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会：デジタル・イメージング技術部会

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

東京都港区芝公園3-5-22 機械振興会館別館

電話03-3435-9321

定員：100名

第8回日本バイオイメージング学会学術集会

日時：1999年10月14日(木)~10月15日(金)

場所：工業技術院共用講堂(つくば市東1-1-4)

主催：日本バイオイメージング学会

主題：生体分子から細胞,臓器,個体までの形態や機能のさまざまな観察方法によるイメージング,新たなイメージング技法の開発,グラフィックスイメージングなど,多岐にわたるバイオイメージングに関する研究発表を広く募集します。

講演申込締切：1999年7月15日

講演主旨締切：1999年8月31日

講演申込と参加申込方法：下記申込先へ郵便, fax, ホームページ入力, または e-mail にて申し込みください。講演題目, 発表者, 登壇者, 所属を明記してください。日本バイオイメージング学会会員の方は学会誌についている講演申込用紙かホームページのフォームをご使用ください。参加のみの場合は当日会場でも受け付けます。

参加資格：登壇者は本学会員であることを要します。ポスター発表にかぎり, 非会員の発表も認めます。

参加費：会員5,000円, 学生会員3,000円, 非会員6,000円

申込先・連絡先：

電子技術総合研究所超分子部 眞島利和(大会長)

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-4

電話 0298-54-5535 Fax 0298-54-5540
E-mail: majima@etl.go.jp
HP: <http://www.etl.go.jp/~majima/bioimaging.html>

平成 11 年度第 II 期 KAST 教育講座

コース：① 環境管理・監査の国際的動向と企業の対応コース，② 社会人のための計算力学集中入門コース
講義日：①のコース 8月24日～27日（計4日間），②のコース 8月23日～27日（計5日間）

連絡先および主な講義場所：

財団法人神奈川科学技術アカデミー 教育交流部教育研修課 横井
〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟
電話 044-819-2033 Fax 044-819-2097
E-mail: kast-ed@net.ksp.or.jp
Hp: <http://home.ksp.or.jp/kast>

東京工芸大学工学部光工学科教員公募

分野：(A) 映像情報処理，コンピュータ・グラフィックス，バーチャル・リアリティーを含む計算機情報処理を専門とし，コンピュータ・プログラミング等の講義の可能な方。(B) 光通信方式，光通信デバイス，光演算，光インターコネクション等を含む光情報処理を専門とし，光情報伝送を含む光エレクトロニクス等の講義が可能な方。

公募人員：(A)，(B) とも教授，助教授または講師 1 名

応募資格：博士，教育にも情熱を持つ 27～55 歳位の方
着任時期：2000 年 4 月 1 日
提出書類：(1) 希望分野と希望職位（複数可）明記，(2) 履歴書，(3) 研究業績（査読付論文，著書，国際会議等分類記載，論文等は全著者，頁範囲明記），(4) 別刷 3～5 編，(5) 研究業績の概要，着任後の研究計画，教育に対する抱負（各 A 4 判 1 頁），(6) 照会可能者 2 名の氏名と連絡先

公募締切：1999 年 8 月 21 日（土）必着，「教員応募 (A)」，または「教員応募 (B)」と朱書し，書留で送付願います。書類は原則として返却いたしません。

書類送付先：〒243-0297 厚木市飯山 1583 東京工芸大学工学部光工学科 伊藤進一
電話 0462-42-9511（直通）
E-mail: s_itoh@photo.t-kougei.ac.jp

通産省工業技術院研究職選考採用者の公募

募集分野：化学，物理，電子，機械，地球科学等

応募資格：<任期なし>博士課程修了者または見込者かつ昭和 41 年 4 月 2 日以降生まれの者

<任期付>博士課程修了者または見込者およびこれに相当する者

提出書類：履歴書，修了・成績証明書，修士および博士論文の要約，研究業績等

公募締切：募集要項に記載

採用予定日：募集要項に記載

募集概要請求先：筑波研究支援総合事務所 庶務課人事係 Fax 0298-54-2134（電話での問合せ不可）

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 羽石秀昭

電話 043-290-3263 Fax 043-290-3262 E-mail: haneishi@ics.tj.chiba-u.ac.jp

なお，掲載申込みは原則として発行日（10 日）から 2 か月前の 15 日まで，開催日が 1～10 日の場合は，開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

日本光学会平成11年度幹事 (*常任幹事)

幹事長:	山口 一郎* (理研)	
副幹事長:	河田 聡* (大阪大)	
庶務幹事:	吉川 浩* (日本大)	佐藤 浩志* (コニカ)
	小野寺理文* (職業能力開発大)	石渡 浩* (オリンパス)
	羽石 秀昭* (千葉大)	米山 修二* (旭光学)
会計幹事:	栗木 一郎* (東京工業大)	埜田 友也* (ニコン)
『光学』編集幹事:	志村 努 (東京大)	大坪 順次 (静岡大)
	伊藤 雅英 (筑波大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集幹事:	朝倉 利光* (北海学園大)	一岡 芳樹 (大阪大)
国際協力幹事:	佐藤 平八 (防衛大)	黒川 隆志 (東京農工大)
	芳野 俊彦 (群馬大)	松本 弘一 (計量研)
将来問題担当幹事:	久保田重夫 (ソニー)	岩田 耕一 (大阪府立大)
前幹事長:	横田 英嗣 (東海大)	
企画・事業担当幹事:	亀丸 俊一 (北見工業大)	羽根 一博 (東北大)
	北島 巖 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	須原 浩之 (リコー)	坂田 肇 (キャノン)
	松原 浩司 (電総研)	本宮 佳典 (東芝)
	石川 和枝 (上智大)	岡井 誠 (日立)
	天野 主税 (NTT)	伊藤 博 (トヨタ)
	北川 洋一 (兵庫工業試験所)	財部 健一 (岡山理科大)
	今井 洋 (九州工業大)	
